「基礎物理学の方向」

—— 湯川秀樹博士追悼シンポジウム ——

1982年3月26日
基礎物理学研究所

目　　次

はじめに

湯川先生と基礎物理学　　基　研　牧　二郎 …… p 2

素粒子物理学の現状と展望　　基　研　益川敏英 …… p 4

素粒子論の方向　　東大・理　宮沢弘成 …… p 11

原子核における π－中間子の役割　　京大・理　玉垣良三 …… p 12

原子核の集団運動　　基　研　鈴木敏男 …… p 21

協力現象の統計物理　　東大・理　鈴木増雄 …… p 28

非線型動力学の新しい展開　　基　研　蔵本由紀 …… p 36

宇宙論と基礎物理学　　基　研　佐藤文隆 …… p 49

はじめに

昨年9月8日に湯川秀樹先生が亡くなられて以来，先生の御業績，お人柄を偲ぶ数多くの催し，出版などが行われました。京都大学においては，基礎物理学研究所と理学部の共同主催で昨年10月末に「湯川秀樹博士追悼行事」がおこなわれ，その記録は理論物理学刊行会より出版されております。

今年1月，基礎物理学研究所の研究部員会において基礎物理学分野での全国的広がりをもって湯川先生を追悼する行事が発案され，3月26日にシンポジウム「基礎物理学の方向」が開かれました。その主旨は湯川先生の御業績を偲ぶとともに基礎物理の現状から将来を展望するシンポジウムを行い，それを先生に捧げるというものであります。ここにこのシンポジウムの記録を上梓し，基礎物理学の今後の発展に関する討論に資したいと考えます。

シンポジウム実行委員
阿部恭久，上田　顕，九後太一
蔵本由紀　佐藤文隆，玉垣良三，牧　二郎